

ウポポイでの学び、 ウポポイへの期待

概要

本年7月12日、民族共生象徴空間ウポポイが開業して1周年を迎えた。コロナ禍で入場者数こそ目標を下回ったが、ウポポイそのものやアイヌ文化や歴史について様々な議論を喚起したという意味で「フォーラム」としての機能をすでに果たしていると言える。本セミナーでは、国立アイヌ民族博物館での現代史展示を例として、我々が国立アイヌ民族博物館で学ぶことができることについてまず知り、次に、ウポポイが立地する白老町民の立場と、白老町で実地研修を行っている大学教員の立場から、ウポポイやアイヌ民族博物館での学びへの期待について披瀝し、来場者とウポポイでの学びについて共に議論をしてゆきたい。

登壇者

マーク・ウィンチェスター（国立アイヌ民族博物館）

ふたまた よしのり
貳又聖規（白老町議会議員 / Blue Salmon 代表）

地田徹朗（名古屋外国語大学）

司会

岩下 明裕（スラブ・ユーラシア研究センター）

日時 2021年 8月5日（木）16時半～18時

参加方法

下記アドレスにて参加登録をお願いします。
登録後に Zoom ウェビナーへの接続アドレスをお送りします。
https://zoom.us/webinar/register/WN_5RZ3PKWDRUC6KL4BpfpvEw

※ZOOMを使用したオンライン会議です。インターネット環境とPC、スマホ、タブレット等があればご自宅やオフィスからお気軽にご視聴いただけます。参加費無料。



参加登録フォーム

主催

人間文化研究機構ネットワーク型基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究推進事業」
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター拠点（NoA-SRC）
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 境界研究ユニット（UBRJ）

共催

名古屋外国語大学世界共生学部世界共生学科

お問い合わせ：join_us@slav.hokudai.ac.jp（担当・岩下）

